

## 令和4年2月定例記者会見要旨

開催日時 令和4年2月14日（月）午前11時30分 大会議室

（市長あいさつ）

2月に入り、先週末から断続的な雪で皆さんも雪かき等や取材等お忙しい中だったと思います。そのような中お集まりいただきありがとうございます。2月21日に招集する議会に令和4年度当初予算案を提出しますが、同時に、3月の補正予算として新型コロナ感染症に対する諏訪市の緊急対策第9弾を発表します。1月9日から政府がまん延防止等重点措置を実施してきました。長野県も現在適用中です。諏訪市においても1月の感染者数と比較して2月に急増している状況があります。諏訪圏域においても、依然として警戒が必要な状況が続いていますので、市民の皆さんには格段のご協力をお願いしたいと思っています。この急激な感染拡大の状況を見ると、学校や保育園などの感染が多く見受けられ、それが家庭内感染に結びついているというように捉えています。小中学校における感染の予防を継続しながら、学びの保障も同時に図らなければなりません。そうした中で、ワクチンの第3回目の追加接種をスタートしています。具体的に、そうした国の補助の2事業があるので、これを第9弾として実施します。総額が4,844万円です。これにより、令和3年度の緊急対策総額は23億8,782万円となりました。令和2年度からのコロナに関しての緊急対策総額は93億3,088万円となります。内容については学校教育活動継続支援事業をということで、学校に対する感染対策を実施するための予算1,305万円。ワクチン接種に3,539万円ということになります。それに関連して、本日市長メッセージを発出することにしました。1月1日から2月13日現在で市内新規陽性者は348人となり、そのうちの282人が2月に入ってから確認です。内容を見ると10歳代以下が約4割、50歳代以下が約9割ということです。児童福祉施設や小中学校、事業所等における感染が家庭内に広がったということが多く見受けられています。オミクロン株はデルタ株と比べて、感染のスピードが非常に早い一方、入院や重症化のリスクは低いと言われていますが、慢性疾患をお持ちの方や基礎疾患をお持ちの方に感染した場合や、高齢者に拡大していった場合は重症化する例もあるので油断ができません。ワクチンも2回目の接種から6ヶ月を経過すると段々と抗体価が落ちてくるということが認められており、国もすべての皆さんが6ヶ月経過した段階で接種できるという方針を示しています。諏訪市としてもワクチン接種対策室で接種券送付の対応をしています。ワクチンの種類はファイザー、モデルナがありますが、接種券が届いたら予約が早く入るところで3回目を打つということをお勧めしています。現在は、受験や進学を控えている大変重要な時期を迎えているので、おうちの中でずっとマスクしているというのは、皆さんうとうしいと思われるかもしれませんが、子供さんたちの状況等も考えると、できるだけ家庭内でもマスク着用などにご協力いただき、基本的な感染対策をお願いしたいと思っています。諏訪市としても、感染拡大を防止するために、情報を適時公開します。また、市民生活への影響を最大限に配慮して対応してまいりますので、引き続きご理解ご協力をお

お願いしたいと思います。

(3月の日程説明等)

○令和4年度当初予算(案)・主要事業

○小中学校卒業式

3月16日(水) 午前9時00分 市内小学校

3月17日(木) 午前9時00分 市内中学校

○上諏訪駅周辺のまちづくり推進に向けた協定締結式

3月18日(金) 午後4時00分 特別応接室

○SUWAブランド・クリエイティブ交流会

3月19日(土) 午後1時00分 ガラスの里

○諏訪市環境フェア～ゼロカーボンシティキックオフイベント～

3月26日(土) 午後1時00分 文化センター

○教育委員会関係3月行事予定

#### 記者との質疑応答

○新型コロナウイルスワクチン接種について

(記者) 諏訪市は個別接種をファイザー、集団接種をモデルナで行っており、個別接種に予約が集中しているようですが、接種を加速させるという意味で個別接種の方でもモデルナを扱うという考えはあるか。

(市長) 1月上旬くらいまでは、ファイザーを主でやってきたので、経験値として安心できるファイザーの方に予約が集まっていましたが、2月に入りモデルナの予約も進行してきました。モデルナの供給がファイザーの数よりも多くなっています。早く打てるということでモデルナの予約も増えてきたと報告を受けています。そうした中で、個別接種でもモデルナのワクチンを接種可能などところにおいては手挙げ方式でやっていくとのお話があり、今現在ワクチン室の方でその対応準備をしています。詳細については健康福祉部長から説明をします。

(健康福祉部長) ワクチンについて、モデルナの接種を集団接種会場で行っています。現在は高齢者の接種が多く、かかりつけ医を持っている方も多いということで、かかりつけ医での接種を希望する方もいます。そういった中で、医師会の方と協議をさせていただき、個別接種においてもモデルナの接種ができるように調整をしています。現在23の医療機関で個別接種を行っていますが、ファイザーとモデルナでは容量が全く異なるということがあります。これを安全に接種するために、先般、説明会を開催させていただき、実施ができる医療機関を精査しています。それが決定したところで枠組みを作り、正式にご案内したいと思っています。

(記者) 時期はいつ頃からになるか。

(健康福祉部長) 県は2月を接種の推進期間としているので、できるだけ速やかにと考えていますが、もう既に2月の中旬になるので、2月の末から3月にかけて接種体制を確立したいと思っています。希望される方は早めの接種をお願いしたいと思います。

○新型コロナウイルス感染者の発表基準について

(記者) 市から発表される市職員や学校などの陽性者の発表基準が変わったが、その理由は。

(副市長) 2月に入り特に、小中学校、保育園、幼稚園などの児童福祉施設において、感染者が急増してきました。1日のうち、ある学校で陽性者が出たという情報があり、それから少し時間が経って、またさらなる情報が入り、また少し経ってさらなる情報が入りということで、教育委員会や諏訪市としても、情報を皆さん方に公表するタイミングによっては、お知らせした情報が翌朝の現状と違っているという状況が生じるぐらいのスピードで感染が拡大しています。そういう中で、情報を的確、正確にお知らせするという目的と市民の皆さんが情報を受けた時に現状と違うじゃないかという不安を与えないようにするために、感染が急拡大している中で情報の出し方を見直したということです。今日現在、まだその状態が続いていますが、感染拡大状況がまた落ち着いたら、従来のような情報の出し方に戻していきたいと思っています。そういった状況の中での見直しということで、ご理解をいただければありがたいです。

(記者) 県でも詳細な発表が後日になっていますが、市民にとっては感染状況が見えづらくなっています。市としても何か追加の情報などを発出する考えはあるか。

(副市長) 例えば保育園や小学校や施設で感染者が出た場合には、その施設の関連する皆様方には、それぞれ適時適切な情報をお伝えしています。例えば、小学校のあるクラスで感染者が出たとすれば、そのクラスの保護者や、必要であればその学年、その学校の保護者には個別に情報を提供して、感染が拡大しないような手だてのご協力をお願いしています。その情報をどこまでの方にお出しすることが感染拡大防止に繋がるかを我々は判断して情報をお伝えしているということです。例えば、企業の中での感染拡大といったものは、私どものところにも詳細な情報をいただけているわけではないので、どこの企業のどういう職場でどういう感染が広がっているかということまでは私どもも承知をしていません。ただ、感染が拡大することを防ぐために必要な情報は、必要な方には提供しているということをまずご理解いただければと思います。何より、先ほど市長メッセージの中で申し上げたように、今、感染拡大に有効な手立てとすれば、3回目のワクチンをできるだけご検討いただき、打てる方には打っていただきたいというのが、まず足元の重要な対応だと思っているので、そこに力を入れていきたいと思っています。